資料 2-1

260716_第３回駅まち空間デザイン検討会議　意見等に対する対応の考え方

No.	意見等要旨	意見等に対する対応の考え方
■エリアビジョン・目標年次について		
1	**〇駅前記念公園周辺の将来像について** ・エリアビジョンで駅前記念公園を一つのエリアとしているが、周辺のホテル・マンション開発や高さ制限の緩和など、将来の姿を想定して位置付けているのか。（宮之本委員・松本観光コンベンション協会）	・駅前記念公園周辺は居住者に加え、働く人・学ぶ人にも焦点を当て、親子や学生が利用する計画、再整備、パブリックスペースの使い方を検討している。（事務局）
2	**〇目標年次と段階的な整備について** ・2040 年頃を見据えるだけでなく、それまでの建物老朽化や空き地増加等を踏まえ、途中の年次についても検討する必要がある。（森委員・JR） ・2032～2033 年頃の周辺道路完成や、2036～2040 年頃のリニア開業など、基盤や条件が整うタイミングをターゲットとして整理する必要がある。（岸井会長）	・周辺道路網の完成に合わせた段階的な整備を想定した整備スケジュール案を作成した。 ➡【資料３】
■交通体系・施設配置案の評価について		
3	**〇３つの方向性の比較評価について** ・トランジットモールの場合に駅へ行けなくなる車両を明記し、お城口から一般車乗降スペースがなくなることを明確に課題として示すべきである。（下倉委員・長野県松本建設事務所） ・デッキによる歩車分離は接続性の評価として扱い、実現上の課題とは切り分けるべきである。（下倉委員・長野県松本建設事務所）	・ご指摘を踏まえ、評価項目を修正した。
4	**〇JR 用地の活用と駅前の賑わいについて** ・JR 用地が交通処理を優先して活用されている印象がある。環境空間や商業施設など、駅前の賑わいにつながる活用を検討してほしい。（森委員・JR）	・交通だけでなくパブリックライフの充実や賑わい創出を検討するため、オープンハウスを実施し、結果を整理した。 ・アルプス口に求められる機能や想定される施設配置、今後検討すべき課題を整理した。　➡【資料３】
5	**〇将来需要を踏まえた施設規模・役割分担について** ・人口減少や鉄道利用者の変化などの将来推計を踏まえて、交通施設の台数や東西駅前広場の役割分担を検討しているか確認してほしい。（宮之本委員・松本観光コンベンション協会） ・人口減少の影響を検討するとともに、自家用車利用率が高い現状を踏まえ、公共交通利用を促す政策と利便性向上を含めて検討する必要がある。（岸井会長）	・駅前広場の計画指針（98 年式）の考え方に沿って駅前広場の規模を検討しているが、最終的な規模は、基本計画策定時の各事業者・関係者とのヒアリングを踏まえ、確定する。
■バス・タクシー等の交通機能について		
6	**〇路線バス・貸切バスの必要規模について** ・トランジットモール案では路線バスの乗車場所と降車場所が分かれているため、具体検討時に乗車・降車それぞれの必要バース数を明記してほしい。（二條委員・アルピコ交通） ・貸切バスは修学旅行シーズン等に多数の配車が必要であり、3 台程度では現状と変わらないため、必要台数を整理してほしい。（二條委員・アルピコ交通）	・バスの課題について事業者等から個別に詳しい意見・要望を確認し、関係機関と協議した結果を次回報告する。（岸井会長・事務局） ・最終的な規模は、基本計画段階で各事業者との協議を踏まえ、確定する。基本構想の段階では、駅前広場東西の役割と機能配置について方向性を定めたい。

No.	意見等要旨	意見等に対する対応の考え方
7	**〇新たなモビリティの導入について** ・人口減少、リニア開業、観光客の動向変化に加え、乗務員減少も踏まえ、新たなモビリティの導入を検討してほしい。（二條委員・アルピコ交通）	・次世代モビリティについては、現時点で具体的な新規モビリティの設定できないため、余白を持たせた再整備に関する考え方を構想にて示す。
8	**〇タクシー乗降場とプールの接続について** ・お城口のタクシー乗降場所とタクシープールが離れ、一般道路を経由する動線では円滑な運用が難しい。タクシーがスムーズに乗降場所へ付けられる配置を検討してほしい。（栁沢委員・松本地区タクシー協議会）	・タクシーの課題について事業者等から個別に詳しい意見・要望を確認し、関係機関と協議した結果を次回報告する。（岸井会長・事務局） ・ショットガン方式による、タクシー乗降場とタクシープールを分離した形態での運用を検討する。
9	**〇駅周辺の路線バス乗降場の集約について** ・路線バスを駅前に集約することについて整理が必要である。駅周辺道路にある既存の路線バス乗降場は、現時点で集約対象として検討されていない。（岸井会長）	・施設配置案修正に合わせて検討する。
■トランジットモールの運用条件について		
10	**〇通行を許可する車両の整理について** ・搬入・宅配車両や周辺事業者の車両など、トランジットモールでどの車両が許可されるのか、不安が生じないよう提示してほしい。（戸辺委員・松本商工会議所） ・トランジットモールの課題について関係機関と個別に協議し、次回に結果を報告できるよう進める。（岸井会長・事務局）	・トランジットモール化により影響を受ける沿道事業者に対する意見収集を実施中である。 ・具体的な運用方法には整理中（先進事例ヒアリングを実施予定）。
11	**〇横断型トランジットモールの事例について** ・駅から放射状に延びる事例だけでなく、駅前広場に対して横断的に入るトランジットモールの事例があれば、その意義を整理して提示してほしい。（出口委員・東京大学大学院）	・同様の事例は未確認。 ・トランジットモール案への反対意見はなかったため、次回以降もトランジットモール案を軸に検討する。
■短期・中期の取組と検証について		
12	**〇短中期の取組・データ整理について** ・構想の目次は中長期的内容が中心で、短中期的な取組が見えにくい。令和９～10 年の社会実験に向け、歩行者の曜日別流動など必要なデータを整理し、ボトムアップとバックキャスティングの両面で検討する必要がある。（出口委員・東京大学大学院） ・短期・中期・長期に分けて資料を再整理し、個別に詳しく意見を確認して次回以降の会議に向けて調整する。（事務局）	・短期、中期、長期に区分した、整備スケジュール案を整理。 ➡【資料３】
13	**〇将来交通量の継続確認について** ・2040 年の周辺道路網に対する交通量負荷は、著しい支障が生じない水準との結果が示されたが、今後も実際の交通流などを将来的に確認する必要がある。（岸井会長）	・次年度以降に社会実験も計画していく。

以上